

Web上のBADUIをユーザの手で改善可能とするシステムの提案

1-A15

田島 一樹、中村聡史 (明治大学)

研究背景

- ・ Web上には使いづらいUI(ユーザインタフェース)であるBADUIが多く存在
- ・ UIの再評価と改善を行うためには時間や費用が必要なために改善が行われないWebサイトは多い

身の周りのBADUI



誤解しやすい標識やボタン等。テプラを貼ることで利用者に注意を促すことが多い

研究目的

Web上のBADUIを改善することでユーザの操作を支援

提案システム

Web上のBADUIにユーザが注意事項または変換フィルタ等を付与して改善し、その改善結果を共有して他のユーザに提示することが可能なシステムを実装



ウェプラ

注意事項・解決策を書いたテプラをサイトに貼り付け

吹き出し解説

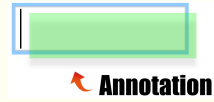
サイト特有の言葉・専門用語に解説を付与

うっかり誤字修正



誤字脱字を正しく修正

入力支援



変換フィルタや例に付与によりユーザの入力を支援

ユーザテスト

- ・ 変換フィルタ付与機能
付与されたサイトの評価が全体的に向上
- ・ ウェプラ機能
提示される情報ごとに付与されたサイトの評価の向上度合いが大きく異なる

今後の予定

- ・ Webサービスの実現
- ・ 悪意のあるユーザ対策
- ・ ユーザの誤操作等の情報を用いて半自動的にBADUIを検知し改善

